

発行

(公財)秋田県暴力追放運動推進センター (旧名称 暴力団壊滅秋田県民会議)

〒 010-0951 秋田市山王四丁目1-5

☎ 018-824-8989 FAX 018-824-8990

警視庁の暴力団対策課は、住吉会系下部組織「幸平一家」単独を対象とした特別捜査本部を設置しています(先月既報のとおり)。同組織は、匿名・流動型犯罪グループと結託し、以下の分野で関与が指摘されています。「特殊詐欺の資金回収・管理」「闇バイト実行役の統制」「違法スカウト活動の後方支援」、特に全国最大規模とされる違法スカウトグループとの関係、若年層のリクルート、供給面での関与などです。現在は、**暴力団が「前に出る」のではなく犯罪を成立させる基盤部分を担う構造**となっていると、みられます。※暴力団は潜んで行動します。

## ◎特殊詐欺阻止活動実施 ◎賛助会員募集しております。

### ◎リクルーター役の高校生を逮捕 ～ リクルーター役とは

昨年末発生した、静岡県長泉町の会社兼住宅で高齢の夫婦が拘束され現金約1千万円が奪われた強盗傷害事件で警察はリクルーター役の高校生を逮捕しています。強盗傷害で逮捕された男子高校生は神奈川県に住む17歳の男子高校生です。この事件では実行役の17歳の少年3人が既に逮捕されています。高校生が担当していたリクルーター役とは「実行役を勧誘し、グループに引き込む役割の者で、SNSなどを通じて闇バイトの募集をかけます。リクルーター役が犯行の中心的役割を担うこともあります。警察では、男子高校生らの背後にトクリュウグループが関与しているとみて捜査を進める方針です。

リクルーターの勧誘の手口は巧妙で、闇バイト応募者の情報を少しずつ引き出しながら、最初は犯罪を匂わせないような簡単な仕事を紹介することが多く、応募者の反応を見ながら次第にリスクの高い仕事を提示し、最終的には身分証明書の提示を迫るなどして、犯罪に引き込んでいきます。闇バイトでは、役割が細かく分担されており、リクルーターは主に最上位の組織と実行役をつなぐ存在として機能しています。

それぞれの役割分担は「**主犯・指示役**～犯罪グループのトップで犯行を指揮する」、「**リクルーター役**～実行役を勧誘し、グループに引き込む」、「**かけ子**～被害者に電話をかけてだます」、「**受け子**～被害者から現金やカードをだまし取る」、「**出し子**～だまし取ったカードを使いATMから現金を引き出す」です。

### ◎犯罪構造の変化

○**従来型**～「暴力団が前面に出る」、「組織名、肩書きが明確」、「接触時点でリスクを把握しやすい」

○**現在主流の構造**～「表に出るのは、匿名・流動型の実行役(トクリュウ)」、「背後で暴力団が資金管理・人材統制・威圧機能を担う」、「**暴力団は名乗らず、見えない形で関与**」

### ◎企業活動におけるリスクの現れ方と影響

○採用・人材面におけるリスクの現れ方

- ・闇バイトや違法スカウトに関与した経験を有する者が、一般求職者として応募してくる可能性がある。
- ・本人に犯罪関与の自覚が乏しく「頼まれただけ」、「バイトの延長」と認識しているケースもあり、入社時点での見極めが難しい
- ・職歴が短期間で区切られている、または断片的で、業務内容退職理由の説明が抽象的なケースがみられる
- ・紹介者や「知人の勧め」を強調し、背景説明が乏しい場合がある
- ・人材リスク(まとめ)～経歴の不自然さとして表面化しやすい

※次号は留意点など掲載します。※あらゆる被害がニュースで流れます。手口を覚えて防止しましょう。